

ヤマダデンキと介護業界大手のツクイが協業 要介護になる前の「予防型リフォーム」を全国展開 ツクイ監修バスリフォームパック発売

株式会社ヤマダホールディングス（本社：群馬県高崎市、代表取締役会長 兼 CEO：山田 昇、以下、ヤマダホールディングス）は、介護業界大手の株式会社ツクイ（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：高島 毅、以下、ツクイ）と協業し、将来の安心・安全を目的とした予防型リフォームブランド「YELLONE HEART（エールワン ハート）」を共同開発しました。

その第一弾として、ツクイの理学療法士が監修した、戸建て用バスリフォームパック「YELLONE HEART ツクイコラボ特別モデル」を、全国のヤマダデンキ・ベスト電器・マツヤデンキ店舗（一部店舗を除く）にて発売します。



50代からのリフォームで、いつまでも、じぶんらしく。

YELLONE HEART



■共同開発の背景 ～介護が必要になる、その前に。予防型リフォームの提案～

人生 100 年時代を迎え、シニア層が住み慣れた自宅で長く健やかに暮らし続ける「自立支援」が課題となっています。そのためには、元気なうちから住環境を整え、日々の安全性をしっかりと確保することが重要です。こうした課題に対し、ヤマダホールディングスが持つ全国の店舗網と住宅設備の販売力に、ツクイが介護現場で培った専門知識とデータを掛け合わせ、将来起こりうるリスクを想定して未然に防ぐ「予防型リフォーム」を提案します。

高齢者の家庭内事故の約半数は「転倒・転落」で、特に浴室は転倒・溺水・ヒートショックのリスクが高く、注意が必要な場所です。そこで第一弾として、戸建て用バスリフォームパックを開発しました。

■ブランド名に込めた想い

ブランド名の「YELLONE HEART」は、Health（健康）、Easy（簡単）、Assist（支援）、Relax（安心）、Trust（信頼）の頭文字が組み合わされ、お客様の健やかな暮らしを支え、安心をお届けしたいという想いが込められています。

■「YELLOW HEART ツクイコラボ特別モデル」特長

ツクイの理学療法士が監修した、お風呂時間の安全性を高める3大ポイントを備えています。

1. 身体機能を踏まえた浴槽の安全設計

浴槽のまたぎこみの高さは、足を高く上げずに済む「39cm」。バランスを保ちやすく、出入りしやすい設計で、入浴時の負担と転倒リスクを軽減します。さらに、入浴中の安定した姿勢を保つ「足止めストッパー」や、出入りの際に握りやすい「浴槽フチ」も設け、安心・安全に配慮しています。

浴槽またぎ 高さ39cm 浴槽の出入り時のふらつきに配慮。段差を抑え、足を高く上げることなく安心して出入りできます。 	フットレストが ストッパーに フットレストの段差がストッパーとなり、足底で踏ん張りやすくなり、浴槽内で起こりやすい身体の前滑りを軽減します。 	握りやすい 浴槽フチ 身体を支えながら自然に前傾姿勢をとることができ、浴槽内からの立ち上がりをスムーズにサポートします。 
---	---	---

2. ヒートショック対策「浴室まるごと断熱」

断熱床・断熱壁・断熱天井に加え、プラズマクラスター搭載のハイパワー200V 浴室暖房換気乾燥機を標準装備。入浴時の急激な温度差を抑え、高齢者の浴室における深刻な事故の主因である「ヒートショック」のリスクを軽減します。

3. ツクイの理学療法士による「手すり取付位置サポート」

手すりの設置場所ごとの役割や必要性を分かりやすくご説明したうえで、ご利用者の身長に応じた最適な設置位置をご提案します。動作の安定性を高め、安心・安全な自立入浴と転倒防止をサポートします。

特別装備：手すり2本



理学療法士が設置位置(場所+高さ)をサポートする手すり(40cm×2本または80cm×1本)が付属

+ 標準装備： 手すり2本

浴槽横



浴槽の出入り時の立ち座りをサポートします。

洗場正面



立つ・座る・向きを変えるなど、洗い場での動きをサポートします。

このほかにも、入浴時のひんやり感を軽減してくれる快適な床材や、ウルトラファインバブル技術搭載のシャワーヘッド「ミラブルビヨンド（ミラブルシリーズのヤマダデンキ限定モデル）」などを採用しています。

■今後の展望 ～「YELLOW HEART」のラインアップ拡大～

本製品を皮切りに、今後もお客様の「くらしまるごと」を支えるリフォーム商品の継続的な共同開発を進め、ラインアップを拡大してまいります。

以上

【本件に関する報道関係者お問い合わせ】
株式会社ヤマダホールディングス 経営企画室 広報課
TEL：027-345-8947 E-mail：ymd_kouhou@yamada-denki.jp